



令和6年3月15日発行（毎年7月・12月・3月発行）

春

第163号

おちあい

責任者 谷口 俊顕 企画・編集 落合第二地域センター管理運営委員会 広報部
〒161-0032 新宿区中落合4丁目17番13号 Tel. 03-3951-9941 Fax. 03-3951-9310



猫を抱いた和恵さん（当時 17 歳）と父の川田晴久さん

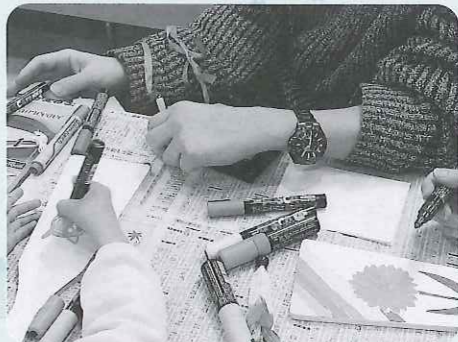
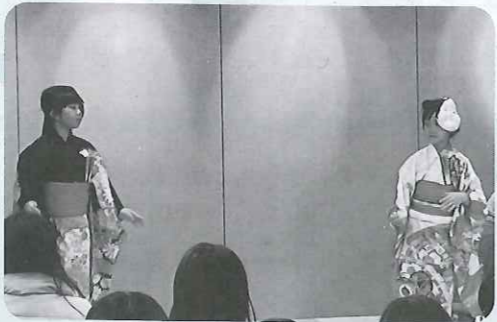
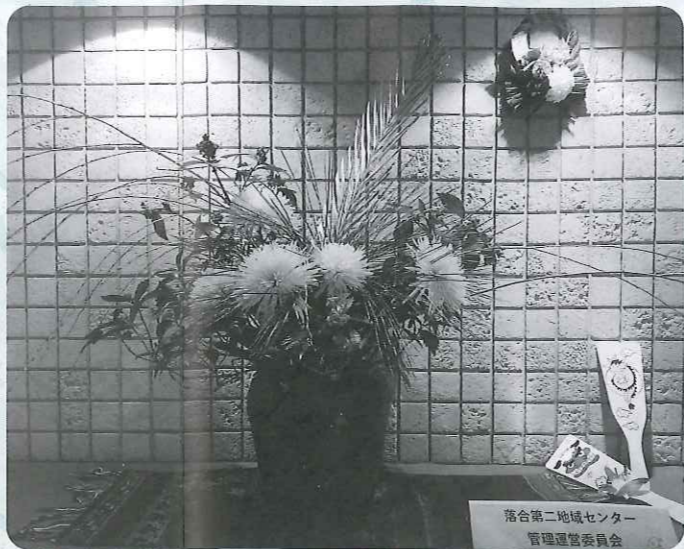
関連記事P4-5「美空ひばりの育ての親ともいわれた川田晴久」

新春 日本のお遊び

新春恒例の「日本の遊び」を、一月十三日（土）午後一時～三時半で開催しました。今回は予約なしで自由に来館できる従来の形式に戻しました。

二階の受付でスタンプリリーのカードを受け取ってから会議室で羽子板と引きゴマの絵付けへ。多色ペンで好きな絵柄を描きました。和室ではカルタ遊び、茶室は百人一首に打ち興じることができました。三階では、フリースペースでけん玉遊び、多目的ホールで羽根突き、工芸美術室で引きゴマ遊びと、スタッフに教えてもらったり、友達や親子と一緒になど思い思いに楽しみました。

午後二時からは「落合囃子連合陸」による獅子舞いが二階の小上がりで行われ、大勢が観覧しました。獅子に囃んでもらうと一年を無病息災で過ごせるということから、お子様を囃んでもらおうと獅子は引っぱりだこでした。スタンプリリーを制覇した子どもたちはお菓子の土産をいただきました。総勢一七〇名が参加し大盛況でした。



羽子板と引きゴマの絵付け



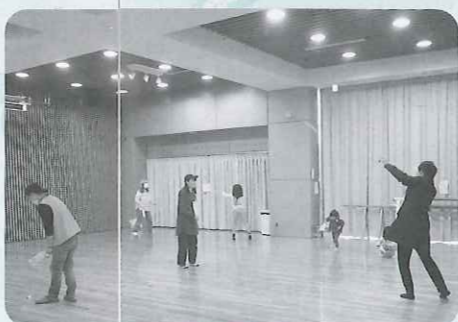
百人一首



かるた



落合囃子連合陸



羽根突き



けん玉



2月イベント 健康講座

「健康寿命をのばすコツ」
いま、準備すること

二月十八日（日）午後二時～三時半、三階多目的ホールで開催。事前予約で先着五〇名。第一部は、寺西秀美氏（新宿区健康づくり・介護予防推進コーディネーター）が「フレイル」の具体的な説明の後、新宿区オリジナル筋力トレーニング体操の実技指導。第二部は、渡邊真紀子氏（新宿区フレイルサポート医療専門職・管理栄養士）から筋力に大事なタンパク質の賢い食べ方の話がありました。



十二月九日（土）、小学五年生以上の先着申込みで、午前と午後、各二〇名が大会議室にて参加しました。五色のしめ縄から好きな色を選んで、花や水引などの飾りつけをしました。

12月イベント 手芸教室

「手作り正月飾り」

3月イベント 文化講演会

「老後の資金がありません」
映画鑑賞

三月九日（土）午後一時十五分、三階多目的ホールにて開催。事前予約先着七〇名。天海祐希、草笛光子出演のコメディ映画を楽しみました。



染めの小道

二月二十三日（金）～二十五日（日）開催

今年で十五回目を迎え、今では落合・中井地域全体が盛り上がる注目のイベントです。今年のテーマカラーは「せんじまる柿」。中井駅北口は「いろどりフェア交換所」、南口では初の「ランタンアートフェスティバル」が開催されました。



令和六年
新春日本の遊び

開催日：1月13日（土）午後1時～午後3時30分
主催：落合第二地域センター 管理運営委員会

「プキウギ」の時代、
美空ひばりの育ての親ともいわれた

「川田晴久さんのこと」

落合に遺されていた戦前戦後の宝物
川田晴久氏の旧蔵品が演劇博物館に



(左から)岡村三智子、和恵、
児玉竜一演劇博物館館長

七〇歳以上の人にとっては懐かしい「地球の上に朝が来るうゝ、その裏側は夜だろお」とギターを片手に歌う川田義雄（のちに晴久へと改名）だが、一人娘の岡村和恵さんが西落合に住んでおられる。このたび、父の芸能活動を物語る膨大な資料を早稲田大学坪内博士記念演劇博物館に寄贈された。

川田義雄（晴久）、本名・岡村郁二郎は、明治四〇（一九〇七）年、本郷根津に生まれる。実家は英文や露文などを扱う印刷所。子どもの時に骨折したのがもとで脊椎カリエスになる。小さい時から浪曲が好きで近所の人からお座敷がかかった。親から受け取った通院費も使い込むなどして、熱心に浅草で演劇や活動写真を観る日々を過ごした。

昭和五（一九三〇）年、のど自慢のテストに合格し、ハーモニカを持ったレビュウ歌手としてデビュー。昭和十二（一九三七）年、「あきれたぼういず」を結成、浅草花月劇場の吉本シヨウに出演し



Wマークの2トントラックでの輸送風景
演劇博物館の安藤弘隆(当時)と和恵

た。メンバーは坊屋三郎、坊屋の弟・芝利英、益田喜頓。リーダーの川田はネタを作り、活弁調の喋りや浪曲の虎造節を披露して人気を博した。

昭和十四（一九三九）年、実弟の龍雄等と「川田義雄とミルクブラザーズ」を結成する。「地球の上

に朝が来る」はテーマ曲になる。太平洋戦争が始まると芸人が応召され、吉本のシヨウは陰りをみせ、川田はカリエスの再発で「ミルクブラザーズ」は解散する。

戦後の昭和二十四（一九四九）年、義雄から晴久へと改名。横浜国際劇場に岡晴夫との二枚看板で出演したときの前座が、まだ十一歳の美空ひばりだった。当時、ひばりは不動の地位にあった笠置シズ子の「プキウギもの」を歌っていた。「この子はす



川田は戦前を上回る勢いで映画やステージで活躍。昭和三十（一九五五）年六月、病により逝去、享年五十一だった。

平成一〇（一九九八）年、川田の妻が逝った後、アメリカでの録音テープを始め、映画のポスター、舞台写真、日記等が詰まった茶箱が、一人娘の和恵さんのものに遺された。

川田は和恵さんに「記録を大事にしろ」と口癖のように言っていた。新年の贈り物は日記帳だった。「母も父の教えを守ったのだと思います」と和恵さん。和恵さんの夫は、膨大な音源（当時はオープンリールテープ）を録音年代順に並べ替えて目録を作成、ポスターやパンフレットなどの印刷物は退色しない工夫をして保存に努めた。

和恵さんと娘の三智子さんが、膨大な資料を今後も散逸させずにどう残すべきかと長年悩んでいたところ、昨年、早稲田大学坪内博士記念演劇博物館に縁を得て寄贈する運びになった。連絡を受け、駆けつけた助教の赤井紀美さんは、川田義雄（晴久）の偉大な業績、残された資料の歴史的価値はもろろん、保存状態の奇跡に近い良好さに驚かされた。三月二十七日、二トントラックで資料を西落合から早稲田まで輸送。一同が感激したのはアメリカを一緒に旅したスーツケースもそのまま



ホノルル空港で大歓迎を受けるひばり親子と川田

残されていたことだ。

和恵さんは早稲田大学賛助員の称号を授与され、十二月十九日、娘の三智子さんとともに同大での贈呈式に出席した。実は和恵さんは俳優座の五期生で平幹二郎氏は同期生。ミルクブラザーズのメンバー有木三太氏の甥である仲代達矢氏は先輩になる。話題豊富で話上手な和恵さんに、新劇についてもコレクションしている同館館長やスタッフが感激して聞き惚れたのはいうまでもない。

戦前戦後に活躍した川田氏の旧蔵品は、三月下旬より開催の「二〇二四年新収蔵品展」にてお目にかかれる。

(※写真キャプションは敬称略としました)

画像資料

早稲田大学坪内博士記念演劇博物館 協力

参考文献

「川田晴久と美空ひばり アメリカ公演」 中央公論新社
「地球の上に朝が来る 川田晴久読本」 中央公論新社



羽田から出発前に記念撮影
(左から)和恵、伴淳三郎、川田、ひばりママ、ひばり、
ひばり父(増吉)、花菱アチャコ

に完成されている」とひばりの稀有な才能を見抜いたのは川田だった。翌年ひばりはデビューし、主演映画「悲しき口笛」が大ヒット、スターの道を歩み始める。「師匠といえるのは父と川田先生だけ」と後にひばりは語った。川田は多くの弟子を育てたが二人の出会いが運命的といえる。

昭和二十五（一九五〇）年、川田はひばり親子とハワイ、アメリカ西海岸へ二カ月の巡業に出發する。日系二世部隊である第百歩兵大隊の記念館建設基金のためハワイ各地を巡り熱烈歓迎された。川田の憧れだったポップ・ホープやスペンサー・トレシーとも会っている。

ロスアンジェルス都ホテルで川田のギターに合わせてひばりが歌う浪曲「唄入り観音経」を聴くと、「美空ひばりと川田晴久の芸は深いところつながっている」と橋本治が「川田晴久と美空ひばり」で書いているのをしみじみと痛感する。

早稲田大学坪内博士記念演劇博物館
enpaku

昭和三（一九二八）年、坪内逍遙博士の古希とシエクスピア全集全四〇巻の翻訳完成を記念し建てられたもの。エリザベス朝時代一六世紀イギリスの劇場フォーチュン座を模した建物。昭和六十二（一九八七）年には新宿区有形文化財にも指定されている。

歌舞伎、文楽から民俗芸能、古今東西の演劇、映像にかかわるものが収集展示されている。早稲田大学の敷地内だが、同大学生以外でも入館することができる。

入館無料。入試時などは閉館されるので事前に確認して来館ください。



早稲田大学演劇博物館二〇二四年新収蔵品展

会期…三月二十五日(月)～五月二十六日(日)
場所…新宿区西早稲田一六一一
早稲田大学キャンパス構内
早稲田大学演劇博物館一階特別展示室
開館時間…十時～十七時(火・金は十九時まで)
休館日…不定休(HPをご確認ください)
問い合わせ…〇三―五二八六一―八二九



落合第二中



3年 染色体験

1月16日(火)、3年生を対象に、新宿区ものづくりマイスターの宇佐美染工所の宇佐美隆三先生をお招きして、染色体験を行いました。落合二中の学区域のひとつが「中井」という地域のため、生徒たちは小学校の頃から「染め」文化を体験する機会があったようですが、一人で最後まで染めの作業を行うのは初めてでした。赤、緑、黄の3色の中から自分が好きな色を選び、まっさらな白いハンカチにオリジナルの模様ができるよう、思い思いに「しぼり」の仕方を考えながら作業していました。染めの液から取り出し、水で洗い流している時に、手に色がつかない、伝統的な染料に驚く生徒も多かったです。実際に染め上がったハンカチを手にとって、美しい模様に見える姿が見られました。振り返りをする「奈良時代から続く歴史があることを知り、改めて日本の伝統文化を大切にしたい」との声が聞こえてきました。地域に根付く伝統文化を体験し、それを大切にすることができた、大変貴重な体験となりました。

3年生主任 安田 裕昭



本校卒業生の宇佐美さんによる染色体験

1年 校外学習

令和6年1月18日(木)、1年生の校外学習は班行動で都内見学をしてきました。班で協力しながらエリアミッションをクリアしました。



チェックポイントで先生に無事を伝えます

いざ、東京タワーへ!

2年 スキー移動教室 (女神湖)

令和6年1月22日(月)~24日(水)、2年生はスキー移動教室に行きました。多くの生徒が未経験でしたが最終日には滑れるようになり、達成感いっぱいでした。



基本をしっかり習ったら上手に滑れるようになりました

高台にある「幸せの鐘」を鳴らすと幸せになれるそう

学校だより



落合第六小



みらいへの可能性の発信

12月22日(金)、23日(土)に開校65周年記念学習発表会が開催されました。インフルエンザの大流行により、3日間の学校閉鎖、それに伴い1週間の延期がありましたが、地域の皆様、保護者の方々のご理解とご協力が無事に終えることができました。

スローガンは「力を合わせて 最後まで やりきろう!」

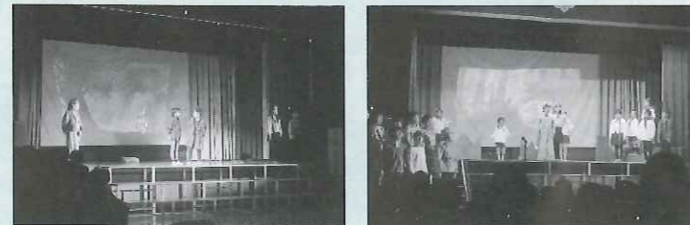
1~4年生が朗読劇や教科等の学習発表、5、6年生がミュージカル系の劇を行いました。普段の授業だけでは、決して見られない子どもたちの様々な表現方法に、キラリと光る可能性をたくさん感じた学習発表会になりました。この経験が子どもたちの自信となり、みらいへの発信力へつながるものと期待しています。

5年生担任・学習発表会委員長 梅田 明子



1年生「くじらぐも」

2年生「ミリーのすてきなぼうし」



3年生「モチモチの木」

4年生「ごんぎつね」



5年生「太陽のうた」



6年生「夢から醒めた夢」



落合第五小



令和5年度 展覧会

本校では、令和6年1月25日(木)~27日(土)にかけて展覧会を実施しました。展覧会委員長は、音楽専科の野沢祥子主任教諭、主な児童への指導は図工専科の羽根田佳於教諭を中心として全教職員で取り組んでまいりました。

羽根田教諭は、本校で新規採用され3年目の教諭です。展覧会への主な指導は初めてでした。実は、約1年前からこの展覧会を見据えて児童への指導・準備を少しずつ行ってきました。作品の出来栄よりも制作過程を重要視する指導に力を入れてきました。展覧会開催ひと月前には、時間を惜しまず細部にわたるまでこだわりをもって準備をしていました。他の教職員も子どもたちの作品をより輝けるよう協力して進めてきました。

展覧会当日は、たくさんの方にご覧いただき有難いことに温かいお言葉を多く頂戴しました。良い雰囲気の中、親子で鑑賞するなど、作品を通じて子どもたちの様子をお伝えできた展覧会になりました。

副校長 野島 泰一



1年生 のってみたいないきたいな

4年生 ブラックライトで光らせて



2年生 くしゃくしゃぎゅー

5年生 糸のこイスイ



3年生 くぎうちトントン

6年生 マイアートスペース



落合第三小



6年生へ贈る言葉

6年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。落合第三小学校では、令和3年度からの3年間、総合的な学習の時間の研究を進めてきました。総合的な学習の時間で取り組んだ、自分で課題を見付け、解決に必要な情報を集めたり、整理したり、まとめたりしながら、自分たちの力で解決に向かっていく力は、これからの学校や、その先の社会でも活用していける大事な力です。

今年、皆さんは福祉をテーマに盲導犬ユーザーの方や新宿社会福祉協議会の方との関わりを通して、ノーマライゼーション(誰もが暮らしやすい社会)の考え方を学んできました。アイマスク、白杖、点字ブロックを使って視覚障がい者の生活や気持ちを知る体験をし、そのような方が、まちのどんな場面で困るのか、そんな時に自分達にどんな手助けができるのかを学習してきました。人は忙しい場面や、プレッシャーがかかるような場面になると、自分本位の視野や考え方に陥ってしまうことがあります。ここで学んだことを忘れず、これからも多様な人々の立場や気持ちを考えて行動することができるような人になってほしいと願っています。小学校卒業はまだ人生の振り出しではありませんが、ここまで支えてくださった家族、友達、地域の方々に感謝の気持ちをもつこと、これまで頑張ってきた自分を認め、自信をもつことを忘れずに、次のステージに向かって行ってください。これまで関わった職員も含め、落三小一同、今後のご活躍を祈っております。

6年生担任 下野 剛
佐藤 和貴



盲導犬ユーザーの方との交流

白杖やアイマスク体験



社会福祉協議会の方との電話での交渉

ゲストティーチャーを招いて情報収集

コミスポ中央大会 結果報告

12月12日(日)にスポーツセンターで第43回コミュニティスポーツ中央大会が開催され、老若男女問わず、子どもたちから高齢の方までスポーツを楽しみました。

ビーチボールバレー・ユニカール・輪投げ(60歳以上の部・一般の部)・ポッチャの4種目が行われ、落二地区からの出場チームでは、ビーチボールバレーで「落六ビスケット」が優勝、ユニカールで「落三teachers」が第3位に入賞しました。おめでとうございます。



落六ビスケット



ユニカールの様子

【落二地区からの出場チーム】

- ビーチボールバレー : 落六ビスケット
- ユニカール : 落三teachers、落六teachers、T.T.K
- 輪投げ(一般の部) : 輝綜斗、すえっきーず、いけいけ!!フルーツポンチ
- 輪投げ(60歳以上の部) : 西落合クラブA、辻町レディースB、葛ヶ谷クラブC
- ポッチャ : 落三A、ブラックスマッシュ

落合第二地区青少年育成委員会

〇おちあいプロジェクト

～こども川柳カレンダー～

落合第二地区の小・中学生が考えた川柳を掲載した2024年カレンダーを作成、配付しました。

カレンダーには、251人の児童・生徒が参加。思わず笑みがこぼれるような川柳も掲載されています。

〇映画会

12月2日(土)に落合第二地域センターで「親子映画会」を開催しました。

上映作品は、『SING(シング)ネクストステージ』、30人の子どもたちが参加、映画を楽しみました。



ご卒業おめでとうございます
令和5年度 卒業予定者数

学校名	人数
落合第一小	88
落合第二小	58
落合第三小	53
落合第四小	62
落合第五小	30
落合第六小	42
落合中	79
落合第二中	86
新宿西戸山中	157

コミュニティ誌「おちあい」は全て再生紙を使用しています。

遊・悠(ゆうゆう)大会結果報告

新宿区バレーボール連盟が主催する遊・悠大会(55歳以上の大会)が12月7日(日)に新宿スポーツセンター大体育館にて開催されました。

落合から出場したチーム「落合クラブ」が2ブロックの枠で優勝、チーム「NISHIOCHIAI」が3ブロックの枠で優勝しました。おめでとうございます。

新宿区高齢者クラブ連合会輪投げ大会

12月4日(月)にコズミックススポーツセンターで開かれた輪投げ大会、53ものチームが参加した中、落二地区で活動する「西落合クラブ(貫井、篠田、多田、栗田、北野)」が優勝しました。おめでとうございます。

落合さくらまつり ～落合第二地区町会連合会主催～

3月23日(土)11:00～15:00に西落合公園で落合さくらまつりを開催します。詳細は、町会掲示板や右のQRコード(落合第二地区情報ホームページ <https://ochi2.jimdofree.com>)からご確認ください。
※23日(土)が雨天の場合は、24日(日)の開催となります。
※模擬店の販売は、売り切れ次第終了となります。

